

# Suse Elementary School

## General Information



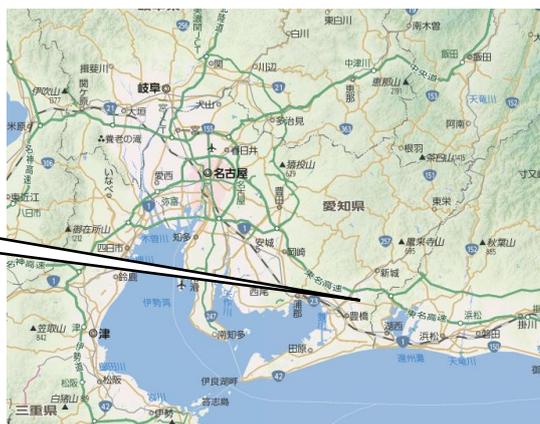
### 1 学校所在地

〒441-1111 豊橋市嵩山町字宮下78-1

TEL 0532-88-0008 FAX 0532-87-1015

メールアドレス [suse-e@toyohashi.ed.jp](mailto:suse-e@toyohashi.ed.jp)

ホームページ <http://www.suse-e.toyohashi.ed.jp>



Suse Elementary School

### 2 職員・児童数等

校長	岡田 照男	職員数	14名	学級数	7クラス
男子児童	45名	女子児童	44名	全校児童	89名

### 3 教育目標

#### (1) 学校教育目標

校訓 「本気・力いっぱい」

一人一人が	・進んで学び	基礎基本を徹底し、進んで学ぶ姿勢を身につける
	・心ゆたかに	想像力豊かな心、思いやりのある心を育てる
	・たくましく生きる	健康で、たくましい心身を育てる

#### (2) 学校経営方針

「たのしく なかよく たしかに まなぶ」

ア 進んで学ぶ意欲や思考力・判断力・創造力・実践力を育む教育活動を推進する。

イ 進んで学ぶ姿勢を大切にし、自らの存在感・達成感を味わう活動を推進する。

ウ 心のふれあいを大切にする学校づくりをめざし、心豊かな児童を育てる。

エ 家庭・地域との連携を深め、地域の根ざした教育活動を推進する。

オ 教員研修を計画的・組織的に行い、専門職としての力量や授業力を高める。

#### (3) 重点努力目標

ア 一人一人の「よさ」を引き出し、誇りと自信を持たせる。

イ 地域や学校の特色を生かした学校づくりをすすめ、感動や満足感のある教育活動を推進し、地域を大切にする感性豊かな心を育成する。

ウ 基礎・基本の確実な定着を図り、少人数のよさを生かした授業の工夫と学ぶ意欲の向上を図る指導方法の改善に努める。

エ 基礎的・基本的習慣を身につけさせ、主体的に行動できる資質を養う。

4 年間の予定（アンダーラインは異年齢集団による活動、太字は地域の人と行う活動）

月	儀式的行事	体育的行事	学芸的行事	旅行的行事	勤労生産的	その他
4	入学式 始業式 退任式					学校説明会 1年生を迎える会
5				<u>遠足</u>  野外活動	<u>芋のつるさし</u>  <b>田植え</b> <b>530運動</b>	家庭訪問
6		プール開き <u>長縄チャレンジ</u>	<b>ふれあい交流会</b> カワニナ採集		<b>ジャガイモ掘</b>	
7						
8						
9		<b>運動会</b>	夏休み作品展		<b>530運動</b> <b>稲刈り</b>	
10	終業式 始業式		<u>ホタル放流式</u>	修学旅行	<u>いもほり会</u>	
11		駆け足訓練	学習発表会			
12		マラソン大会			<b>餅つき大会</b>	個別懇談会
1					<b>キノコ菌打ち</b>	授業参観
2		<u>短縄チャレンジ</u>			<b>そばパーティ</b>	新入児説明会
3	卒業式 修了式					6年生を送る会 学級懇談会

# Application for Participation

## *Associated Schools Project (ASP) for Promoting International Education*

### Outline of the way the Project(s) will be implemented in the institution

(please use extra sheets if necessary)

#### **Description of the Project (プロジェクトの概説)**

本校は、在籍児童数が 89 人（2013 年）と小規模の学校である。また、周囲を山に囲まれ、学校の北には川が流れ、自然環境に恵まれている。校区の人は学校に協力的で自然を生かした産業も多くみられる。本校では、こうした学校や地域の特色を生かした教育活動の実践に心掛けている。

少人数という特色を生かして、学校教育活動のさまざまな場面で異年齢集団による活動を行っている。異年齢集団による活動を多く行う理由は、いろいろな友達と触れ合う機会を作るためである。また、ひとつの目的に向かって協力する活動を通して、人としての大切な心情や人と接する望ましい態度が形成されると考えられるからである。

地域の特色を生かして、自然を調べる活動や地域産業を体験する活動を計画的に実施している。地域の自然や人と触れ合ったり、産業を体験する活動を行った理由は、自分たちが住んでいる地域の良さを体感させ、郷土を大切にしたい気持ちからである。自分の五感や体をはたらかせる活動は、大切な体験として身につけていくと考える。

こうした活動を通して、たくましく思いやりのある豊かな心の子どもを育てていきたいと考えている。

#### **Objectives of the Project (プロジェクトの目的)**

##### ① 異年齢集団による活動

日常活動や目的をもった活動を異年齢集団で行うことにより、思いやりの心を育て、相手の立場や状況を理解した行動をとることができるようにする。

##### ② 自然と触れ合う活動

地域の自然と触れ合ったり調べたりする活動を通して、地域の自然の豊かさに気づかせ、大切な自然を守ろうとする気持ちを育てる。

##### ③ 地域の人と触れ合う活動

地域の産業やそこで働く人に目を向け、地域の特色を生かして生活していることに気づかせ、地域を大切にしたい気持ちを育てる。

#### **Execution (プロジェクトの実施)**

(e.g. through a specially designed course, through an existing course(s) or as an extracurricular activity)

##### ① 異年齢集団による活動 (だるま班活動)

日常では、掃除をだるま班で行っている。  
また、水曜日の長い放課では、高学年の子どもが考えた遊びをだるま班で行うことがある。いずれも、高学年の子どもが低学年の子どもにやり方を教えながら活動している。

長縄跳びや単縄跳びをだるま班対抗で行っている。一つの目的を達成するために、協力し、励ましあいながら粘り強く取り組ませるようにしている。「やった」という達成感を味わせるとともに、思いやりの心を育て、体力をつけることにも効果がある。



長縄跳びでは、高学年の子が低学年の子に適切なアドバイスをします。

## ② 自然と触れ合う活動

### ○ホタルの飼育・放流活動

本校の北を流れる嵩山川や南を流れる長彦川では、6月から7月にホタルが飛び交う。ホタルの舞う川を守ろうと、本校ではホタルの幼虫を飼育し、放流する活動を10年以上続けている。ホタルのえさとなるカワニナを採集して飼育したり、ホタルに産卵させ、幼虫をふ化させて飼育したりしている。カワニナの餌やりや水質管理を子どもたちが交代で行い、晩秋に育ったホタルの幼虫を嵩山川に全校で放流している。また、地域を流れる川の水質や水生生物の調査を行い、川を中心に地域の自然を守る活動を進めている。



秋から冬にかけて育てたホタルの幼虫を嵩山川に放流する。

## ③ 地域の方と触れ合う活動

### ○お米作り・餅つき会

本校では、水田を借りてお米作りをしている。田植えから稲刈り、脱穀までを地域の方の指導の下に行っている。地域の方は、農作業の方法を具体的に教えるだけでなく、植える稲の株数や肥料の与え方による収穫量の違いなども自分の経験から話して下さる。子どもは、地域の方の話や体験を通して、米作りの工夫や努力に気づいていく。

収穫したもち米は、お世話になった地域の方を招いて餅つき会をし、全校にふるまって収穫の喜びを味わっている。

地域の方の協力により、お米以外にもジャガイモの収穫やサツマイモの栽培・収穫を行っている。



地域の方の教えを受けながらいっしょに田植えをする。

## ○キノコの栽培

校区には、キノコ栽培農家（指導者的役割を持っている人）がいる。この方を指導者として招き、地域の自然を生かした産業を理解することを目的に、キノコの栽培を行っている。ほだ木への菌打ちや水やりなどを子どもがしている。日常生活ではあまり身近でないキノコ栽培のようすを知る機会となっている。また、地域の産業への理解を深める役目もしていると考えられる。



キノコ指導者に教えていただきながら、菌打ち作業をする。

## Type of materials to be used（使用する教材）

### ① 異年齢集団による活動

- ・長縄（各学級用がある）
- ・縄跳び（個人で用意する）
- ・全校遊びで使用するもの（空き缶、新聞紙、ボールなど）
- ・計画委員会（全校遊びやだるま班活動の企画や運営をする子どもの組織）

### ② 自然と触れ合う活動

- ・バケツ、ざる（カワニナの採集に使用する）
- ・大型水槽（ろ過機やエアポンプなどを含む）
- ・水槽用冷却器（ホタルの幼虫は、20℃前後の水温調節が必要なため）
- ・ふ化器（ホタルの産卵と幼虫のふ化に使用する）
- ・紙コップ（放流時に幼虫を個別に分けるのに使用する）
- ・水質調査キット（川の水質調査で使用する）
- ・バット、スポイト（幼虫の採取や水生生物の調査で使用する）

### ③ 地域の人と触れ合う活動

#### ○米作り・餅つき会

- ・稲の苗、肥料
- ・かま、稲架（稲刈りで使用する）
- ・うすときね、蒸籠と竈（餅つき会で使用する）

#### ○キノコの栽培

- ・ほだ木と種菌（菌打ちで使用する）
- ・電動ドリル（菌打ちの時使用する）
- ・寒冷紗（栽培時、半日陰にするために使用する）

**Is there any type of evaluation to examine the effects of the project on students' comprehension and attitudes? (プロジェクトに対する生徒の理解と姿勢の評価方法)**

- ・各活動を実施する際には、事前に活動の目的を子どもに理解させている。活動によっては子どもに自分のあるいは自分たちグループのめあてを立てさせるようにする。立てためあては発表や掲示をして活動意欲が高まり持続するようにする。
- ・米作りのまとめとなる餅つき会やホテルの放流式では、子どもたちのこれまでの取り組みや成果を全校に発表する機会を設ける。これによってこれまでの活動への励ましとし、新たな活動への意欲が持てるようにする。
- ・各活動の実施後には、絵作文や感想文などにより活動のようすや反省を記録させ、取り組みについての評価をしていく。

*On behalf of my institution, I apply for participation in the UNESCO Associated Schools Project and give the assurance that this institution will make an active contribution to the Project, as outlined above, for a minimum period of two years. At the end of every year, I shall submit a report of the Project to the ASP National Co-ordinator of my country.*

(本学校を代表して、ユネスコASPの参加申請をし、少なくとも2年間は上記概要にそってASPに貢献する活動を行うことを確約します。また、毎年ASPコーディネーター(※日本の場合は日本ユネスコ国内委員会)に活動のレポートを提出します。)

2014年3月7日

**Date (日付)**

豊橋市立嵩山小学校 校長

**Principal's name (校長名 (※直筆))**

**Position, (役職)**

**Institution's name (学校名)**